



2018年 川崎工場 環境報告書

Kawasaki research&manufacturing
facilities sustainability report

1. ごあいさつ

国際社会において、持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals =SDGs)が2015年9月国連総会で採択されました。SDGsには、水、エネルギー、持続可能な生産と消費、気候変動など、地球環境課題に関する分野も多く盛り込まれており、課題解決に向けたイノベーションなど、企業の役割が期待されています。富士通グループは、第8期環境行動計画の目標の1つに、「ICTサービスによる持続可能な社会への貢献」を掲げています。幅広い分野において“最適化”、“効率化”、“自動化”などをもたらすICTは、社会・環境課題の解決に大いに貢献できる可能性を持っています。

川崎地区においては、こうした地球規模の問題に取り組むため、地域に根ざした地域貢献活動、スポーツを通じた社会貢献活動、環境活動を実施し、環境マインド向上に努めています。社員一人ひとりが工場、オフィス、家庭における環境負荷の低減、社会貢献活動に積極的に参加する取り組みを今後も進めてまいります。

富士通株式会社
川崎工場長

吉田 明宏

2. 事業所の紹介

■ 富士通株式会社 川崎工場

- 所在地 : 神奈川県川崎市中原区上小田中4-1-1
- 開設 : 1938年(昭和13年)10月
- 敷地面積 : 約142,000㎡
- 事業内容 : システム・製品に関わる全ての研究、開発、各生産工場の連携・統合業務

3. 環境活動

■ 地球温暖化防止への取り組み

川崎工場ではエネルギー消費CO₂排出量を抑制するため、省エネ型設備の導入やオフィス空調温度の適正化、照明・OA機器・空調機器の節電などに取り組んでいます。

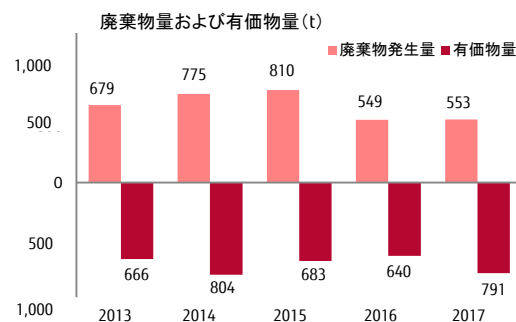
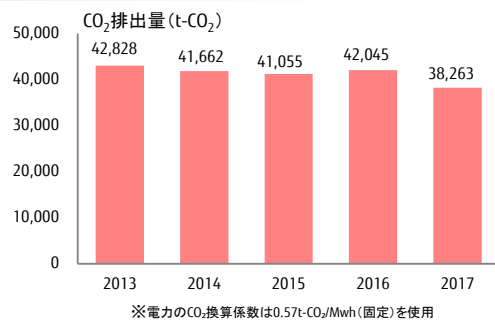
■ グリーン電力(※1)の使用

社会における再生可能エネルギーの普及拡大は、地球温暖化対策、エネルギー源多様化による安定供給の確保、エネルギーを基軸とした経済成長などの観点から、より一層重要となっています。川崎工場では、富士通フェスティバル 春まつり/イルミナイト川崎のすべての電力に風力発電によるグリーン電力を使用しています。

(※1) 風力、太陽光などの自然エネルギーにより発電したCO₂を発生しない電力

■ 廃棄物対策

川崎工場では資源循環型社会をめざして3R(Reduce:発生抑制、Reuse:再使用、Recycle:再資源化)を推進するという基本方針のもと、より高度な3Rを目指して、社員一人ひとりが廃棄物の分別徹底を推進しています。



4. 社会貢献活動

川崎工場は地域社会の一員として地域と密着した環境コミュニケーションを行い、地域への貢献と調和を図ります。

■ 栗木山王山緑地保全活動

川崎工場は、川崎市が保有する「栗木山王山特別緑地保全地区」(川崎市麻生区)の緑地保全活動を2012年度より開始しました。これまで当地区は、雑木林の利活用が長年放棄され、竹が侵入するなど荒廃した状態にあり保全管理が課題となっていました。このため、川崎市と川崎工場が保全管理計画を策定。計画の段階から行政と企業が協働し、企業の特許独自技術やマンパワーを緑地保全活動に活用する先進的な取り組みです。緑地保全活動は、川崎市支援のもと、富士通グループ社員がボランティア活動として、雑木林内に侵入した竹の伐採、下草刈りなどを実施。加えて独自のICTを活用した生物調査などにも取り組み、概ね7ヶ年をかけ良好な里山への再生を目指します。



2017年11月11日 栗木山王山緑地保全活動
緑地保全活動

■ 富士通スタジアム川崎スポーツフェスタ

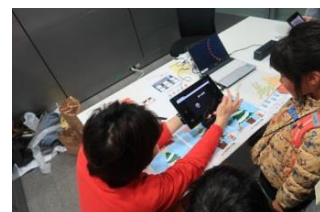
地域イベントとして富士通スタジアム川崎スポーツフェスタが開催され、陸上競技部・アメリカンフットボール部・女子バスケットボール部・チアリーダー部による各スポーツ教室を実施いたしました。また、パラスポーツ(障がい者スポーツ)体験としてウィルチェアーラグビー・ボッチャのコーナーが設置され運動部選手も体験しました。更に、なわとびセンシング、ゴルフスイング診断など弊社の技術体験、川崎市のパラスポーツの取り組みの紹介展示も実施されました。



富士通スタジアム川崎スポーツフェスタ

■ 富士通フェスティバル 春まつり/イルミナイト川崎

川崎工場では、地域のみなさまに弊社取り組みをより身近に感じていただくことを目的として、富士通フェスティバル 春まつり/イルミナイト川崎を開催しています。イルミナイトでは、富士通の技術を活用したブース「未来技術のタッチ&トライ」を設置し、サービスやプロトタイプ製品の展示や大人から子供まで楽しめる富士通の最新技術の体験をしていただきました。



未来技術のタッチ&トライ

■ Office見学Day

職場内・家庭内のコミュニケーション活性化や、お子様の夏休みの自主学習などにご活用いただくことを目的として、Office見学Dayを実施しました。富士通の歴史、最先端技術の見学・体験、家族が働いている職場を見学し、仕事や働くことについての理解を深めていただきました。また、川崎工場の前庭でセミ羽化観察会を実施し、自然を学ぶことができる体験もしていただきました。



セミ羽化観察会

最先端技術見学

5. 環境教育・環境啓発活動

環境の大切さを知っていただくため、環境教育や各種イベントを実施しています。

■ 川崎工場外柵沿い花の植栽活動

川崎市と川崎工場は協働して美しい街路景観を創出することにより、花と緑あふれる住環境の実現を図ることを目的として、緑化推進重点地区における緑の景観づくりの推進に関する協定を締結しています。協定に基づき工場南側外柵沿いに花壇を設置し、花の植え替えを近隣小学校児童の皆さんに行っていました。



花の植栽活動

■ 竹細工教室

富士通フェスティバル 春まつり／イルミナイト川崎で、栗木山王山緑地保全活動の紹介と活動で伐採した竹を使用した「竹細工教室（箱庭／バンブー、クリスマスツリー作り）」を開催しました。参加者の皆様には、自然の素材かつ身近にある竹を使用し、手軽に作ることで自然への関心、物づくりの楽しさ、発想を広げる体験をしていただきました。また、地域の皆様に参加頂くことで、栗木山王山緑地保全活動を知っていただくとともに緑地保全、生物多様性保全の大切さを学んでいただきました。



クリスマスツリー

箱庭／バンブー

■ タブレットPCを用いた環境教育

川崎工場は、環境教育等に取り組む事業所として、川崎市より環境教育促進法に基づく認定を受けています。小、中学生向けの体験型環境教育の場として、「タブレットPCを用いた環境教育」を実施し、「地球1個分で暮らすために～エコロジカル・フットプリントから考える」、「将来のシゴトとエコ～キャリア教育×環境教育～」2つのコンテンツを用いた環境教育を通して環境活動を行うことの重要性への気づき、行動を起こすためのきっかけづくりなどを学んでいただきました。



タブレットPCを用いた環境教育

6. 外部表彰

■ 第6回スマートライフスタイル大賞 優秀賞受賞

川崎市は、低炭素社会の構築を目指した取り組みを進めるため、CO₂削減、地球温暖化対策に貢献する市民、事業所等の優れた取り組みを表彰する制度「スマートライフスタイル大賞」を2012年度より創設しています。「富士通グループ環境教育プログラム」の取り組みが第6回の表彰において、優秀賞を受賞しました。



第6回スマートライフスタイル大賞 授賞式

7. 安心・安全な工場への取り組み

■ 土壌・地下水汚染

川崎工場では、過去の操業による土壌・地下水汚染が判明しています。そのため敷地内に観測井戸を設置し、地下水汚染の状況について監視するとともに、汚染源と推定される場所や敷地境界で地下水の揚水処理を実施しています。

以下の表は、観測井戸で2017年度法規制を超える測定値が確認された物質の最大のものを記載しています。

物質名	測定値	規制値
シス-1,2-ジクロロエチレン*1	2.7mg/L	0.04mg/L以下
ひ素及びその化合物*2	0.086mg/L	0.01mg/L以下

*1 使用履歴のあるトリクロロエチレンの分解生成物質。

*2 最大値が検出された観測井戸周辺では検出された物質の使用履歴がなく、自然由来によるものと推定しています。

8. 環境マネジメントシステム

■ EMSの構築・運用状況

富士通グループでは国際規格ISO14001に基づく環境マネジメントシステム(EMS)を構築し、グループが一体となった環境改善活動を推進しています。2004年度末に国内連結子会社でISO14001を取得した後、対象を海外連結子会社に拡大し、2005年度末にグローバル統合認証を取得しました。川崎地区もその一員として環境マネジメントシステムを運用し、効率的で実効性の高い環境活動の推進に努めています。

9. 環境方針

富士通は、1935年の創業以来、「自然と共生するものづくり」という考えのもと、環境保全を経営の最重要事項の一つと位置づけ、富士通グループの事業の独自性を反映させた環境経営を推進するために「富士通グループ環境方針」を定めています。川崎地区では、富士通グループ環境方針に基づき、独自の環境方針と重点テーマを定め、環境マネジメント活動に積極的に取り組みます。

■ 川崎地区環境方針

川崎工場は地域環境との調和をコンセプトとする「池と前庭のある公園式工場」として誕生し、現在も都市化が進む中であって、多摩川や川崎市等々力緑地と連携した地域全体の貴重な緑地空間として、その基本方針を引き継いでいます。

川崎地区は川崎工場を中心とした複数事業所で構成され、当社製品に関わる全ての研究部門、開発部門、各生産工場を連携・統合する富士通グループの研究開発の中核であるとともに、地域と隣接する都市型活動拠点であることから、工場開設時のコンセプトを大切に継承しつつ、地区の特徴を最大限に活用しながら『人と環境が融合した透明性のある環境活動』を基本理念として、以下の方針に基づき環境活動を推進します。

- (1) ISO14001に基づき構築した環境マネジメントシステムにより環境保全活動を推進します。
- (2) 当拠点の活動、製品、サービスに関わる環境側面を常に認識し、環境汚染の防止を推進するとともに環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。
- (3) 当拠点の活動、製品、サービスに関わる環境関連法規、協定、自主基準及び組織が同意したその他の要求事項などを順守します。
- (4) 良き企業市民として、環境保全活動への協力や情報提供、社会や地域における環境政策への支援・協力を積極的に行います。
- (5) この環境方針の達成のため、環境目的・目標を設定し、当拠点内の関係・関連会社を含む全部門、全社員をあげて環境活動を推進します。
- (6) 当拠点の活動、製品、サービスに関わる環境側面のうち、次の項目を環境活動の重点テーマとして取り組みます。
 - 自らの事業活動/事業拠点の温室効果ガス(GHG)排出量を削減する
 - ・エネルギー消費CO₂排出量の削減
 - 社会貢献活動の推進
 - ・良き企業市民としての活動
- (7) 社員一人ひとりは、それぞれの業務や市民としての立場を通じて、持続可能な資源の利用、気候変動対策や生物多様性保全をはじめとした地球環境保全に貢献し、更に広く社会へ普及啓発を図ります。
- (8) 本環境方針、目的・目標は、年1回定期的に見直します。なお、見直す必要が生じた場合は、環境管理統括責任者の判断で適宜見直します。
- (9) 本環境方針、目的・目標は、川崎地区環境マネジメントマニュアルで定義した適用範囲に基づき、当拠点及び当拠点のために働く全ての人々に周知すると共に、必要に応じ、社外にも開示します。



富士通フェスティバル春まつり川崎



多摩川清掃



工場見学

富士通株式会社

川崎工場 総務部
〒211-8588 川崎市中原区上小田中4-1-1
TEL: 044-754-8976 FAX: 044-754-2524

発行責任者 吉田 明宏
編集責任者 杉山 辰将
発行年月日 2018年6月
記載事項対象期間 2017年4月～2018年3月
報告URL: <http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/communication/report/group/>



印刷: 2018年6月 - 01